

やってみよう 手話 しゅわ

手話を^{しゅわ}使えば、^{つか}耳の^{みみ}不自由な^{ふじゆう}人とも^{ひと}話せるし、^{はな}静かに^{しず}しなくては
いけない^{ばしょ}場所^{ひと}でも^{はな}人と^{とも}話せる。友^{とも}だち^{どうし}同士^{つか}で^{つか}使う^{あんごう}ひみつの^{あんごう}暗号^{いろい}にも
できる。自^{じぶん}分の^{なまえ}名前^すや^い好き^きなもの、^{いま}今^きどんな^も気持ち^{いろい}か、^{いろい}色々^{いろい}な^{いろい}こと
を^{しゅわ}手話^{あらわ}で^{あらわ}表^{あらわ}してみよう。



^{かぞく}家族^{とも}や^{しゅわ}友^{つか}だち^{はな}と^{はな}手話^{つか}を使^{はな}って^{はな}話^{はな}してみよう。



^{しゅわ}手話

は

たのしい!



読んでみよう

『ふれあいの手話』 全4巻

丸山浩路著・監修，山口万里子著・監修 学研 1995

『ゆびであいうえお』

田中ひろし文，せべまさゆき絵 ほるぷ出版 2005

『わたしたち手で話します』

フランツ=ヨーゼフ・ファイニク作，フェレーナ・バルハウス絵，
ささきたづこ訳 あかね書房 2006 978-4-251-00947-0

